

## 平成25年度 市長と語る市政懇談会 寺津地区 会議録

日 時 平成25年10月25日（金） 午後6時30分～8時30分  
場 所 寺津ふれあいセンター（ブルーホール）  
出席者 町内会長始め団体の代表者 27名、自由参加 15名  
市議会議員 小林敏秋 議員  
市 側  
市長、神谷副市長、小島副市長、教育長、企画部長、地域振興部長、  
環境部長、総務部次長、福祉部次長、子ども部次長、建設部次長、  
上下水道部次長、教育部次長、市民病院事務部次長、消防署長  
進 行 酒井 進 代表町内会長  
提言件数 11件 自由意見 6件

### 【市長あいさつ】

皆さまこんばんは、お元気で何よりです。市長の榊原康正でございます。今日は、台風が心配される中をたくさんの皆さまにお集まりいただきまして、ありがとうございます。

今年のビッグニュースといたしまして、この寺津中学校出身の岩瀬仁紀投手が、9月18日にナゴヤドームで日本人最多記録となる通算382セーブというすごい記録を達成いたしました。日本一となるということは本当に努力をされて、もちろん才能もあつただろうと思いますが、やはり中学時代、高校時代に古里でしっかり足腰を鍛えたおかげだろうと思います。日本の野球界をリードしていく大選手として我々も応援をしてまいりたいと思います。

今、一番心配をされておりますのが、いろいろな自然災害です。防災、減災のために市といたしましても最大限の力を注いで今、対応をしています。この地域におきましても、あちらこちらでいざという時に心配をしなければいけない地域がたくさんあります。ご心配を皆さまもおみえだと思っておりますが、まず今年は寺津漁港の方で、高潮による浸水被害の恐れがあるということで、防潮扉の改良工事を昨年度に引き続き今年度も施工し、完了する予定であります。なお、本年度6月補正予算におきまして、港橋の東側付近になりますが、寺津漁港への下水路の吐口に逆流防止対策工事も併せて行います。今後も浸水対策のために全力を尽くしてまいります。

それと今、環境の問題も非常に重要でございます。今年度、公共下水道の整備をこの地区なこじでは、若王子及び美之掛みのかけ周辺と寺津小学校・中学校周辺の2地区を整備しています。平成26年4月から下水道が使用できるようになりますので、ぜひ、下水道の接続をお願いします。莫大な工事費をかけて整備をしておりますので、皆さまのご協力をお願いします。

市では、いろいろな事業を行っておりますが、市民の皆さまの中でお知りにならない方もおみえです。今、職員が地元へ出かけていろいろなご要望やご意見をお聞きする「市民協働ガイド」という事業を行っております。10人ぐらいの皆さまがお集まりいただいて、ちょっと説明に来てほしいということがございましたら、ぜひご連絡をいただきたいと思っております。必ず市の職員が伺い、いろいろな事を説明したり、皆さまの生の声をお聞かせいただいたりして、少

しでも皆さまのご要望にお答えしたいと思います。

ちょうど今年には西尾市制60周年という記念すべき年でございます。いろいろな記念事業を市の方、あるいは民間の皆さままで行っております。いよいよ後半に入ってまいりまして、盛りだくさんの記念事業を行ってまいりますので、どうか皆さま方のご協力をお願いしたいと思います。

私は今年の市政運営の柱といたしまして「融和」と「協働」を掲げております。「融和」と申しますのは、新しい西尾市がスタートしまして2年半が経過いたしました。市民の皆さまがお互いに「やあやあ」と親しく声を掛け合いながら毎日が過ごせる、そういった「融和」ができればと思います。それと「協働」ですが、今、役所でできることは、本当に限りがございます。ですから、市民の皆さま方のいろいろなお力をお貸しいただいて、ともに全員野球でこの市を良くしていこうということでございます。

今から団塊の世代の皆さまがリタイアされて、優秀な、いろいろな知識や技能、ノウハウをお持ちの方がたくさんおみえですので、そういった方々とともに新しい西尾市をどこよりも住みやすい、安心して暮らせる市にしていきたいと思いますので、どうかよろしく願い申し上げます。

今日は皆さま方と直接いろいろなご意見をお聞かせいただき、私どもの考えをお伝えしますので、よろしく申し上げます。

#### 【代表町内会長あいさつ】

こんばんは。市長始め多数の市の職員の方々には、このような機会をつくっていただき感謝を申し上げます。ありがとうございます。

衣浦岡崎線が碧南側から4車線化してまいりました。寺津からですと市役所と半田市役所がほとんど同じような時間で行けるようになりました。この道路が岡崎まで4車線として結ばれ、衣浦と岡崎の人と物の流通が今以上に活発になれば、寺津の発展につながると確信しております。

それと今一つ、市長が構想されています、憩の農園を中心としました農業副都心が形を現してくると寺津にとっても発展の起爆剤になるものではないかと楽しみにしているところです。

一方で寺津は古い町です。現在の生活には不都合なインフラがたくさんあります。本日は、その辺りを聞いていただけたらと願っております。

台風が気になるところですが、和やかな懇談会<sup>など</sup>にしてまいりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

## 【意見・要望と回答】

1 西尾寺保北土地区画整理組合発起人代表

### ○ 西尾寺保北土地区画整理事業が早期に着工出来るよう、雨水排水路の整備と都市計画道路田貫徳永線の早期実施を要望します

土地区画整理事業について西尾寺保北地区は、平成 19 年度の市政懇談会で都市計画道路田貫徳永線の早期施工を要望しましたところ、「計画路線の中に民家もあり、これらの移転場所も考慮に入れた土地区画整理と一体的に進めるべき」との当時の担当者の指導をいただき、それに従い平成 20 年度より土地区画整理事業を進めるべく現況調査、21 年度には仮同意の取得と順調に進めてまいりました。現在は西尾市が施行する雨水排水路の建設と都市計画道路田貫徳永線の施工が進行しないと、土地区画整理事業が進められない状況にあります。このため、排水路の整備と都市計画道路の早期の実施を要望します。

都市計画道路田貫徳永線が開通しますと、既存運行路線と競合しない形で寺津の中心部であります「ふれあいセンター」までくるりんバスの乗り入れが可能となります。くるりんバスの寺津中心部への乗り入れも寺津町民の大きな望みです。

上下水道部次長／排水路整備についてお答えします。寺保北区画整理区域の雨水排水を受ける下水路につきましては、区画整理事業担当課と整備の時期を調整してきたところで、本年度、工事を 2 本に分けて全線を整備します。

旧名鉄三河線から西、約 290m の区間は発注済みで、受注業者は丸洋建設株式会社、旧名鉄三河線から東、約 130m の区間も 11 月 15 日に業者が決まり、平成 26 年 3 月末で完了する予定でございます。

工事中は、交通規制等でご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

建設部次長／道路に関して申し上げます。西尾寺保北土地区画整理事業の立ち上げにご尽力いただきまして、まずもってお礼申し上げます。

都市計画道路田貫徳永線につきましては、計画幅員 18 メートルで都市計画決定されていますが、現在、県道岡崎碧南線より南側の羽塚西と吉山の土地区画整理事業に合わせ、羽塚町から富山町の間につきましては平成 29 年度末の完成を目標に整備中であります。その後、事業化を予定していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。

地域振興部長／くるりんバスの寺津の市街地への乗り入れのご要望ですが、今年度、西尾市全域の公共交通のあり方を示します「西尾市地域公共交通計画」を策定中です。すでに計画策定のための交通実態調査や市民及び利用者ニーズ調査を終え、その中に六万石くるりんバスの増便や延伸も、市民の皆様からご意見としてご要望を頂いております。

市としましても、既存の公共交通であります路線バスやタクシーの領域は侵さないようにしつつ、最低限確保すべき交通サービスとして、毎日の買い物や病院等への通院する移動手段の確保は、とても重要であると考えております。今後の計画の中で、市内地域間が不均衡とならないよう、公共交通を総合的に見直してまいります。来年度に計画をつくり直し、実施は再来年度の予定です。

区画整理組合代表／都市計画道路の羽塚の辺りの着工計画は伺ったのですが、寺津区域の中の都市計画道路の着工はいつ頃になるのでしょうか。

建設部次長／羽塚地区の都市計画道路の目標を29年度末に完了予定としておりますので、それ以後に計画をしたいと考えております。29年度もしくは30年度以降となります。

区画整理組合代表／そうすると寺保北の区画整理事業は非常に遅れてきます。都市計画道路と一緒にやらないといけない部分があります。29年度に終わるとなると、それ以降でないと寺保北の区画整理が実施できないと思うのですが、そういう理解でよろしいでしょうか。

建設部次長／そうではありません。区画整理区域内の都市計画道路は区画整理の事業に合わせて整備をさせていただきます。寺保北土地区画事業そのものは進めていただいて問題ないと思います。区画整理の中の道路と接続が遅れるということです。

区画整理組合代表／寺保北の区画整理の中に取り込んでできると思うのですが、その中には宅地にかかる部分があります。その部分について、市の方で移転補償費などご心配いただかないといけないと思うのですが、区画整理の方で面倒見るといふことにはならないと思いますが、いかがでしょうか。

建設部次長／今言われますのは、200mの区域の概ね6件か7件ある住宅のことだと思いますが、その方につきましては、基本的には市の方で移転補償をさせていただきます。ただ、移転先をご本人様が他に持っておられれば、そちらの方へ移っていただき、そうでなければ、区画整理の中へ移転していただく形になります。

## 2 天王山町町内会長

### ○ 寺津ふれあいセンター周辺の整備について

寺津地区は、寺津と巨海の2つの保育園があります。先般実施されました保育園の運動会へ2園とも見に行きまして感じたことは、1つは建物が老朽化している。2つ目は園庭が狭く、応援している保護者が立っている状態です。3つ目は駐車場が狭くて歩いている人、自転車で来る人、それから車が行き来し、危険です。

先ほどございましたように寺津保育園の周辺で土地区画整理事業が計画されています。その中で保育園も事業地内にあり、都市計画道路が園の中をかすめるような計画と伺っています。

今後、移転、新設をされる際には、公共施設の再配置計画の中で、寺津、巨海両保育園の統廃合も視野に入れて、できれば寺津ふれあいセンター周辺に配置し、安心安全な保育園をつくっていただきたいと思っております。併せて、ふれあいセンター周辺の環境整備をしていただき、潤いある寺津づくりを切望します

市長／寺津ふれあいセンター周辺の整備について、ご要望をいただきました。現在、保育園の統廃合はじめ、ふれあいセンター周辺の整備計画はございませんが、保育園などをはじめとする公共施設を統廃合していくことは、次世代への財政負担を軽減するために必要であると考えております。

西尾市では、現在、すべての公共施設の数を段階的に圧縮するとともに、効率的で、効果的な施設配置を実現するため、「公共施設再配置」を進めておりますので、今後とも一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

### 3 ニツ家北町内会長

#### ○ 寺津校区を横断する国道 247 号の迂回路の建設を要望します

衣浦岡崎線の片側 2 車線化が進行しています。この事業は寺津の発展の起爆剤になる事と、歓迎しているところです。道路の整備に伴い交通量も増え、大型車の利用も増大しています。また、校区内には古井に工業団地を抱え、大型の運送車両も多く出入りをしています。国道 247 号が幹線道路、衣浦岡崎線へのアクセス道となりつつあります。

朝の時間、247 号は通勤・通学・物流が重なり、歩行者・自転車・大小の車が細い道に殺到しています。247 号は古い国道のため、道幅も狭く歩車道の区別もありませんし、電柱も道路内に設置され、狭い道路をさらに狭くしています。ニツ家町内の子供達はこの道を通学路として使っていますし、高校生はこの道で自転車通学をしています。交通弱者にとっては非常に危険な道路となっています。

247 号は古い町中を縦断しています。この道路を改良する事は不可能と思われれます。そこでバイパスの建設を切望します。古井の工業団地を出入りする大型車両、衣浦岡崎線を利用する車が寺津の町中を通る 247 号を利用せずに事足りる道路の実現をお願いします。

建設部次長／ご指摘のとおり国道 247 号は狭く、歩車道の分離もなく危険な道路と認識しております。ご意見のありましたバイパスは、都市計画道路衣浦岡崎線の寺津大橋から古井工業団地に沿って南進する、都市計画道路国道 247 号の事と思いますが、事業化の予定は今のところ県からは無いと伺っております。

国道 247 号の通学路となっている箇所につきましては、歩行者帯のカラー舗装などの安全対策を県に要望してまいりたいと考えています。

通行に際しましては、くれぐれもお気をつけて、ご利用くださるようお願いいたします。

ニツ家北会長／今、中畑橋から南の方へいい道ができていますが、途中から急に狭くなっています。あの道を利用した迂回路というかバイパスの計画はないのでしょうか。

建設部次長／ご指摘の所につきましては、南進して旧 247 号までで計画が止まっています。今申しました都市計画道路国道 247 号というのは県事業の方で都市計画決定をされている路線ですので、今後、これを国道 247 号のバイパスということで、県に要望してまいります。

### 4 奥田町町内会長・土木防災副委員長

#### ○ 奥田海岸の耐震工事の早期施工について

奥田海岸の堤防は昭和 34 年の伊勢湾台風でズッタズタにやられました。その時にできた今の堤防は、大変老朽化が進んで、浸食された穴から塩水が出入りしたような所もありました。応急工事はしていただきますが、いつ起きてもおかしくない南海トラフの大地震が起きたら、命と財産を守ってくれる堤防があのような状態ではとても心配です。県の施工する海岸の耐震工事は対岸の寺津海岸を始め順次進められていますが、私の奥田町の海岸はそのような状況です。早急に進めるようにお願いします。

特に市長は、2 期目になって、どの会合のあいさつでも防災・減災対策の強化と言われています。その辺りの意気込みをお聞きして、早期実現をお願いしたいと思います。

建設部次長／ご指摘の海岸の地震・津波対策では、ご心配をおかけしております。

愛知県により進めていただいております海岸堤防の耐震工事は、現在、「第2次あいち地震対策アクションプラン」により、平成26年度末を目標に進めていただいておりますが、寺津海岸を始め、海岸堤防の耐震化の中で、奥田海岸については、現在のこのプランには盛り込まれておりません。

県によりますと、国の進める防災・減災対策の推進もあり、奥田海岸につきましても、現在、計画を前倒しして、堤防の耐震点検を行っております。その結果を次期アクションプランに盛り込み、整備を進めていくと聞いておりますので、市といたしましても、県に対して一刻も早く工事着手をして頂けるよう要望してまいりますので、よろしくお願いいたします。

市長／確かに奥田海岸の堤防は本当に心配な部分がございます。これも県が耐震の点検を進めております。もし、これが非常に弱いものであったら、大変心配でありますので、私も県の方へ万全を期していただくよう重ねて要望してまいります。

奥田町会長／市長の心強い言葉をいただきましたので、よろしくお願い致します。

#### 5 白山町町内会長

#### ○ 寺津中学校西側道路に児童安全通学歩道の設置

白山町は寺津小・中学校を取り巻く集落です。昨今の車社会で生活環境も相当変化しております。中学校の正門の西側に隣接している道路ですが、朝、通勤する車と登校する子どもたちの時間が重なっている状況の中で、ここ数年来、交通安全に関して危惧を抱いております。学校の先生も下校時には、生徒を誘導し、安全を確保するために動いていただいております。また、安全に関して教育をされている中で、地元町内会としても何らかの安全性を高めるために一歩でも前へ進みたいと考えています。中学校の西側の道路は、狭い所で約3.8m、広い所で約6.2mの道路幅になっていますが、狭い所は何か行事があると、子ども、自転車、車があふれて非常に安全性に心配を抱いております。中学校西側の道路で正門から旧正門の間までが約3.8mで非常に狭いため、安心安全性を少しでも高めるためにも、ぜひ歩道を設置していただきたいと切に望みます。

また、小学校、中学校は非常時の避難場所でもあります。そういう観点から捉えても、歩道を検討していただきたい。

建設部次長／ご要望の箇所は、歩道がなく、不便をおかけし、また、保護者の方々に心配をおかけして、申し訳ございません。

現状の寺津中学校西側の道路は幅員が約3.8mから4.6mと狭く、道路敷内で歩道整備するのは難しい状況です。

小学校側の歩道につきましても、小学校と調整が出来ましたので、整備することが出来ました。(歩道は学校敷地内に設置)

中学校西側の歩道設置につきましても、中学校と調整が付けば、整備を進めていきたいと考えております。

## 6 井桁川を守る会会長（巨海町）

### ○ 災害対策として井桁川に排水機を設置してほしい

先ほど市長がおっしゃいました中で、防災に力を入れることについて、非常に私も心強く聞いておりました。私の話は井桁川に排水機を設置してほしいという趣旨であります。その理由は私ども井桁川周辺の住宅地・田園は標高が0.8m～1.1mと低く、大雨や台風時は、川が氾濫して、浸水する可能性が大であります。現に前野新田は冠水して田畑に被害が毎年のように出ています。そのために排水機を設置していただきたい。以前、伊勢湾台風の前13号台風では、地元の方が井桁川で流され、水死されています。そんなことで、地域住民の災害に対する感情が極めて高いです。最新の排水機は自然に水量を感知して、自然に排水すると聞いています。防災対策の一環としてぜひとも井桁川に排水機を設置をお願いします。

上下水道部次長／この地区は、現在の公共下水道計画では、約38ヘクタールが井桁川に流入している区域でございますが、井桁川へは自然流下する状況になっているため、公共下水道では井桁川にポンプを設置する考えはございません。

なお、西尾地区の公共下水道の雨水につきましては、今年度から4か年の計画で、計画区域全体の現況調査を行い、雨水排水計画を策定いたします。

当地区につきましても、その中で必要な施設の検討を行ってまいります。市街地等で浸水被害が頻発しているのであれば、位置、状況等をお教えいただき、計画への反映や、応急処置等も検討してまいりますので、よろしく申し上げます。

井桁川会長／今の回答の中で検討していくというのは、前向きな検討として受け取って良いか。

上下水道部次長／結構です。

## 7 東脇町町内会長・矢作川南部土地改良区総代

### ○ 将監用水の抜本的な改良を

将監用水は市街化区域の所と農地を矢田の方から徳永、巨海、そして刈宿を通過して、中根町で海へ排水している川です。ところが近年、市街化区域の開発が進みまして、雨が降る度に一遍に水が溢れてオーバーフローしてしまいます。今年の8月6日の雨では、巨海町雨堀地内で堤防が決壊してしまいました。そういうことで地元の方が大変困っております。ぜひ改良していただきたい。私の知るところでは、将監用水は3面張りの用水ですが、約20年前にボックス化するという計画があったと聞きました。ぜひそれを進めてもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

上下水道部次長／寺津東部の将監用水は、ご指摘のとおり、度々路肩が崩れてご迷惑をおかけしています。

用水ではありますが市街地の雨水が入り込み、溢れる原因にもなっていますので、下水道としても数年前、応急的に本線の水位が一定の高さに到達すると、東にあります比較的大きな水路に流入するように、数カ所工事をしておりますが、抜本的な解決は公共下水道計画にあります寺津東部雨水幹線として改修をしなければ解消しません。

この幹線の実施時期につきましては、本年度から策定する雨水排水計画で、緊急度等に応じて検討してまいります。

また、この雨水幹線は延長約 3.7 キロメートルあり、下流では現在の断面に対し幅は約 2 倍、深さは 3 倍になります。用地買収、工事費とかなりの費用と時間がかかることをご理解願います。

補足ではございますが、国は現在、公共下水道の汚水整備を、今後 10 年間で完了するように指導しており、その後は、国庫補助金が期待できなくなる事情もございます。緊急を要する雨水整備は行ってまいります。当面、汚水整備を優先し、早期完了してまいりたいと考えています。そういった面で、よろしくご理解をお願いします。

東脇町会長／お話はよくわかりましたが、着工から完成まで相当の年月がたたなければできないと思います。現在の状態でも市街化区域の雨水を受けるだけの容量が将監用水にはないと思います。そういうことで緊急的でも、北浜川の方へ水を抜くという抜本的な計画でも結構ですので、ぜひ、実施していただきたいと思います。

上下水道部次長／数年前から大雨が降ると溢れていることは知っております。そのことを少しでも解決しようということで、所々で、一定の高さまで水が来ると自然に水が東側に落ちるように直しております。そういった所でやるべく所はっております。先ほど言いましたように雨水は、公共下水道の汚水の方を進めておまして、それが終わった段階で雨水の方へ大々的に入っていけるようになります。その前に下準備が必要ということで地区の現地調査で水路の状況がどの程度のものなら良いのかなど、詳しいことを調査しています。平成 33 年に終える予定ですので、その前から雨水の方法も計画を進めて少しでも早く着手できるように頑張っていきますので、よろしくをお願いします。

東脇町会長／先ほど言われた一定の水位よりも高くなった場合に自然排水できる装置はどのあたりにつくられたのですか。

上下水道部次長／衣浦岡崎線の上流部で 1 カ所か 2 カ所、下流の方の途中でもやっております。もっと必要な箇所があれば、対応できると思います。

東脇町会長／その辺りの排水ですと、うちの方に影響がないと思われしますので、こちらの方にも 1 カ所か 2 カ所でも検討していただきたいと思います。

上下水道部次長／現地を歩いて適当な箇所があれば対応していきたいと思います。

8 中根町町内会長

#### ○ 北浜川拡幅工事計画の促進

北浜川の拡幅工事について要望したいと思います。国、県の支援事業に護岸工事は入っていると思いますが、北浜川はご存じのように市内を源流として中根の所で三河湾に出ている川です。現況を言わせていただきますと、まず刈宿地区においては、刈宿の代表に聞き込みをしたのですが、名鉄電車が走っていた頃に赤い杭が打ち込まれた工事があったのですが、それが現



在に至っている状態です。巨海・中根地区は海拔0m地帯が入っていますから非常に町内の中でも不安な部分があります。現状は、北浜川のひ門がありますが、ひ門から上流約200mの所に幅15mの盛り土が造成されています。その中根のそばにあるひ門は、ゲートが移動し拡幅された状態になっております。中根は海と川の堤防に守られている住宅地です。昨年、大雨が降った時に水門の前の土手付近は、異常に高い水位で北浜川の水があり、不安が残っています。安全な川にするため、工事計画を促進していただいて、安心安全な中根の町にしてほしいと思います。

建設部次長／大雨時期に異常水位となり、ご心配されてお見えになることをお察し申し上げます。

まず、ご意見の刈宿地区の杭打ち工事は、北浜川拡幅計画に伴う、用地測量の杭と思われると思います。この用地測量に伴う用地の取得を、現在愛知県により進めていただいております。刈宿地区につきましても用地取得を行っているところでございます。

市といたしましても、河川改修計画に必要な用地取得を早急に完了していただくとともに、土盛り造成されている箇所への拡幅を行っていただけるよう、引き続き強く要望してまいります。  
(河川港湾課)

また現在、北浜川排水機場更新事業を愛知県にて、平成22年度より平成28年度完成を目標に実施中であります。

現在の排水機場の上流に新機場を建設するため、川幅が狭くならないように、平成24年度にひ門の移設を行い、平成25年度は堤防の付け替えを行うと、県より聞いております。(土木課)

中根町会長／懸念事項で、北浜川の水門の辺りに川底の汚泥が、業者の話では1m以上積もっていると聞きました。浚渫する予定があるのかお聞きしたい。

建設部次長／汚泥は上流の方から砂が流れ込み、川底が上がっている状態かと思いますが、これも県に伝え、1日も早い工事を進めていただくようお願いをしていきます。

## 9 旭町町内会長

### ○ 旧寺津駅跡地に寺津中央公園の建設を要望します

寺津の中心部には公園がありません。寺津と巨海の神社に小さな公園がある程度で、中央にはありません。すぐ近くには寺津小学校と中学校がありますが、以前、私たちが若い頃はグラウンドが使えましたが、今は安全上の問題で関係者以外に立ち入りできませんので、グラウンドや遊具が一切使用できません。

また、最近ではシニア向けの健康遊具が設置されている公園が多くなりました。ぜひ、避難場所も兼ねた、幼児からシニアまで集うことのできる遊具とトイレを兼ね備えた寺津中央公園の建設を切望します。

企画部長／名鉄三河線廃線敷地につきましては、平成16年3月末の廃線以来、名鉄と交渉を重ねてまいりましたが、残念ながら協議は整っていない状況でございます。その主な原因といたしまして、名鉄は全線一括で売却する方針であるのに対し、西尾市の方針は、道路や水路、公園用地として必要な箇所だけの購入を示してきたためでございます。

これまで名鉄とは、20回を超える協議の場でいろいろ話し合いを重ねてまいりましたが、

最近になって、これまでの「全線一括売却」の方針から、柔軟な対応をうかがわせるようになってまいりました。市といたしましては、今後も粘り強く交渉を続け、ご要望の寺津駅の跡地が一刻も早く有効活用ができるように努力してまいりたいと思っております。

旭町会長／将来につながるようないいお話をさせていただきありがとうございます。今後とも大変だと思いますが、よろしくをお願いします。

#### 10 平和町町内会長

##### ○ 寺津八幡社北の交差点に信号機の設置を要望します

寺津八幡社北の国道 247 号と東西に新設された道路の交差点は工業団地への出入り口にも当たることから交通量の多い交差点となっています。朝夕は通学路にもなっていることから、歩行者と車が交錯し、緩いカーブで見通しも悪く、非常に危険な交差点となっています。毎年町内会長が信号機の設置を要望しましたところ、信号機の設置には、歩道部分に人の滞留スペースが必要との指導を受けました。滞留場所の候補地は寺津八幡社の所有地となっています。神社の責任者と信号機の設置に向けて協議をしております。前向きな回答を得ていますので、ぜひとも信号機を設置して、危険な交差点を失くしていただくことを切望します。とにかく何らかのアクションを起こしていただきたいと思います。最近、全国で通学中の児童の列に車が突っ込むケースが多々あることから、交通安全が最も大切なことだと思います。何とぞよろしくお願い致します。

地域振興部長／信号機を設置するには最低条件といたしまして、信号待ちの時に歩行者の方が安全に退避できるスペースの確保が必要になります。

現在、神社の責任者の方と退避場所について、前向きな話が進んでいるとのことですので、早期に条件整備を進めていただきたいと思いますと考えております。

また、信号機の設置につきましては、愛知県公安委員会が管轄です。西尾市内に信号機を設置していただける箇所は、毎年 2、3 か所あります。

他の町内会からも信号機の設置要望がたくさん出ております。市政懇談会もこれで 10 か所目になりますが、3 か所目のご要望でございます。条件が整い次第、愛知県公安委員会へ強く要望してまいりますので、よろしくお願いいたします。

平和町会長／私が 4 月から町内会長に就任してから 2 回ほど事故を見ていまして、やはり危険だと思っています。ぜひ、よろしくお願い致します。

#### 11 寺津保育園父母の会会長

##### ① 大地震に備えるために、沿岸部の小中学校の屋上を避難できる屋上へ

##### ② 保育園からの避難経路の確立

① 1 点目は、東南海トラフを震源とする巨大地震における津波の被害想定を考え、沿岸部沿いの避難指定校とされている学校を屋上へ避難できるように構造的に造り替えていただきたい。

② 2 点目は、市から各保育園に通達があったと思いますが、大地震の際、寺津保育園は、寺津小学校へ保育士の方々が園児達を避難させるということでした。大パニックの中、少人数の大人で大人数の園児達を誘導できるとは思えません。

避難経路を確立していただきたく、また、大規模な避難訓練など市からのサポートを受けて、避難訓練が出来ればと思います。

以上、2点について対処していただきたく、お願い申し上げます。

①教育部次長／1点目の南海トラフ地震の被害想定は、本年12月に公表される予定です。これを踏まえ、ご意見ご要望の学校施設の屋上避難の対策を含めまして現状の見直しと、さらなる防災・減災対策の協議検討を進めてまいりますので、よろしくお願い致します。

②子ども部次長／寺津保育園では、災害時の避難計画がございまして、大地震で園舎が倒壊した場合は保育園の駐車場に、津波の危険がある場合は寺津小学校に避難して園児の安全を確保することにしております。また、避難時の避難経路についても、避難計画の中で定めております。

保育園では、計画に沿って避難訓練を実施していますが、小学校へ避難する場合には、道路を安全に横断することや、住宅の塀の倒壊などを避けて通行することなど、危険に対する配慮が必要となるため、避難訓練を繰り返すことが重要です。また、保護者の方には、避難場所や避難経路を周知し、災害時の避難方法を理解していただく必要があります。

保育園の職員は、園児の安全な避難のための話し合いや役割の確認を重ねておりますが、実際の災害時には園児の動揺が避難に影響することがないように、今後は、近隣の地域の方々にもご協力いただけるような避難方法を、検討してまいりたいと考えております。

なお、寺津保育園は標高6.5メートルで、現在の南海トラフ巨大地震に関する想定では浸水区域外になっております。災害時には、予想される津波の規模を十分に考慮して避難先を判断し、園児の安全確保に努めてまいります。

保育園父母の会会長／1点目の学校を屋上へ避難できるように構造的に造り替えていただきたい意見について、対策を具体的にどのように考えられていますか。

教育部次長／今まで一色町や吉良町の学校の屋上に避難した際の手すり等を設置してまいりました。この寺津地区におきましても今後の被害想定状況を十分踏まえまして、必要な部分を手当てしてまいりたいと思っております。

保育園父母の会会長／手すり等の設置について、寺津小学校は屋上へ避難するという時に、屋上への入口が狭いと聞いております。そういった点を構造的、抜本的に変えていただけたら避難できやすいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

## 【自由意見】

I 市民 I (寺津中学校区) ← ( ) 書きはお住まいの中学校区

### ○ 地元の道路の改善について

私は長寿会の会長をしており、会の連絡などで、寺津のあちこちを毎日歩いて回っております。道路を歩いていて気がついたのですが、歩きにくい、不都合なところが数箇所あります。改善のため、地元の町内会長も地元をくまなく歩いて不都合がないか確認していただきたい。

代表町内会長／はい、わかりました。

神谷副市長／ご意見ありがとうございます。来週中に建設部からご連絡をして、ご都合の良い日に現地と一緒に確認して、対応させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

## II 市民II（寺津中学校区）

### ○ 環境が年々悪くなっていると思いますので、早急に原因を調査して下さい

梅雨時に道路を通ると、昔はカエルがけっこう道路に出て、車などにふまれているのを見かけましたが、今年は見かけませんでした。水田でもオタマジャクシを見かけなくなりました。カエルの声もあまり聞きません。

ミツバチが4年前から少なくなりました。私は、シャクヤクを150株くらい育てており、1,500ぐらいの花が咲きます。ものすごく蜜が出て庭にミツバチがたくさん来ていましたが、4、5年前から来なくなりました。

環境に原因があるのか調べていただきたい。西尾市だけの問題ではないですが。増えたのは外来種のみどり亀とジャンボタニシと草魚等です。

環境部長／今、言われたように最近は、いろいろな所でメダカがいなくなったとか、そういう話を聞きます。こうした生物の減少には、さまざまな要因があります。例えば、農薬を始めとする化学物質、あるいは地球温暖化、外来生物、開発による環境の変化など、現時点では、いろいろな説があります。ミツバチも世界で全滅だとか言われ、最近では野生のミツバチが見つからないというようなことがあって、一説によると、ニコチノイド系の農薬、あるいはダニやストレスが考えられます。ミツバチがいなくなると作物の花粉の受粉ができません。こうしたことは西尾市だけでなく、全国的な規模のことです。

市としましてもすぐにはできませんが、地道に県からの情報、あるいは国からの情報を元に、また、環境団体の皆さんと連携して、少しでも環境が良くなるように取り組んでいきたいと思っています。現在、市のホームページにもこうしたことが載せていますが、外来生物の取り扱い等、ペットとしていらなくなって捨てたとか、ジャンボタニシなどその昔は食糧として輸入していたが、問題があって捨てられたというような経緯もございます。既に在来生物化していますが、そういうようなことをホームページで周知し、農薬の取り扱いについても適正に散布するように働きかけていきたいと思っています。何しろ行政だけではできない部分がございますので、皆さん方と連携してやれるところはやっていきたいと思っています。

## 市民IV（平坂中学校区）

私は自然の関係で、文化財保護委員を3年目、自然観察指導員の資格も持っていて観察会をやっています。

今のカエルの話ですが、私も農業をしています、その原因ははっきりしていて、それは2年に1回しか田んぼにしなかったら、今、うちの畑にはカエルがいっぱい寝ていますが、来年、目を覚ました時に、今年田んぼがあったのに、来年は畑しかないわけです。2年間ずっと寝ていることができませんので、減反政策をやっている限り、メダカやカエルはほとんど生きていけないと思うしかありません。

私は、市の天然記念物のヒメタイコウチの保護にも取り組んでいます。ヒメタイコウチの生息地の八ツ面の北側も2年に1度しか田んぼにしませんが、保護用につくった水路とか施設はすべて無駄になっています。それは国の政策かもしれませんが、2年に1回しかやっていなかったら水生の生きものが生きられるはずがありません。東北へ震災のボランティアに行った

時に、石巻の周辺で稲の植わっていない所は、塩水をかぶったから植わっていないんですと説明がありました。石巻では塩水をかぶらなければ、毎年田んぼに植えられるんだと強く印象を受けましたので、保護する場所には、毎年田んぼをつくれるようなことを考えない限り、メダカもカエルも生きていけないと思います。

地域振興部長／確かに今、こういう話を言われて納得したのですが、私は田舎に住んでおられて、カエルが田んぼで鳴いて、毎年夜うるさくて眠れません。私の家の裏の田んぼは、転作がありません。毎年作っています。農政は転作という国の方針がありますので、市の方から政策を変えるというのは、難しい話ですので、ご理解をいただきたいと思います。

### Ⅲ 市民Ⅲ（寺津中学校区）

#### ○ 児童公園が周辺の市と比べると貧弱なのでつくってほしい

#### ○ 農業副都心構想はどのような構想か

児童公園の話ですが、碧南、安城、刈谷は大変すばらしい児童公園があり、子どもが一日遊べるような施設があって、おじいさんが孫を連れて楽しめますが、西尾に関しては、中心部に蒸気機関車が1台あるだけの公園や古川に公園がありますが、周辺の市と比較すると西尾市の児童公園は貧弱です。いろいろな予算がかかるとは思いますが、孫をつれて1日遊べるような児童公園をつくってもらいたい。

あと、寺津に道の駅みたいな施設を247号周辺に造ってほしいという要望を出しましたら、小林議員から福地の農業副都心ということで、市が産業が活性化できる施設を設置する大きな夢を市が描いていると聞きました。どのような構想を持っているか、どのような形で進行しているか具体的に教えてください。

建設部次長／今ご指摘の公園ですが、おっしゃるとおり周辺の市には公園といえますか遊園地に近いものがございますが、西尾市におきまして、八ツ面山公園、古川の公園、道の駅一帯に「親子で楽しめる公園」を整備する計画で今年度から着手しております。出来ましたらぜひ、ご利用ください。そして現在も、「愛知こどもの国」が西尾市にはありますので、お孫さんを連れて一緒に遊びに行っていたきたいと思います。名鉄西尾線・蒲郡線の存続もありますので、電車をご利用をいただきたいと思います。

地域振興部長／農業副都心の具体的な構想はどうですかというお尋ねですが、現在、市長がそういった計画を立ち上げてから、検討委員会と検討部会をJA、経済連、市の観光協会、商工会議所などの組織を取り込んで計画を策定中でございます。具体的な内容はまだお答えできませんが、大府にある「げんきの郷」のような計画といえますか、私の意見ですが、例えば、憩の農園で地域でとれたお米ですとか、地元で獲れた魚介類とか一次的な素材を使いまして加工したり、そこで直売したり、とれたものをつくって売るという3つの行程を道の駅を誘致してやったりとか産直の工場を誘致したり、農家レストランをやったり、体験型の観光が人気でありますのでイチゴ狩りですとか、ブドウ狩りですとか、季節に合ったことをやってもらったり、地元でいろいろなものをつくれる大きな施設を考えております。

#### IV 市民IV（平坂中学校区）

##### ○ 新生西尾市をオリエンテーリングの町にしてほしい

オリエンテーリングを中心とした、一つの核とした町づくり、町興しを真剣に考えていただきたくとそのことを訴えたいと思って参加しました。

1月26日に佐久島で第6回昇竜杯というオリエンテーリング大会を行います。西尾市教育委員会、佐久島観光協会に後援をしていただきます。このオリエンテーリングのパーマネントコースが愛知こどもの国にあります。愛知県では、数少ないパーマネントコースです。こどもの国は来年度から県からNPOの管理になると聞いております。基本的には独立採算になると聞いていますが、ぜひ、市としてもバックアップする上でも、オリエンテーリングをこどもの国で開催することを考えていただきたい。こどもの国での開催はうちの子が中学生か高校生の頃に主催で開催しているぐらいですから、そんなに人手もお金もかかるものではありません。名鉄西尾・蒲郡線を利用する上でもこどもの国の振興は良いのではないかと思います。

もう一つ、私は10月10日から「あいち森と緑づくり事業」というので、八ツ面山の北側の林を保全するというので、中部水生昆虫研究会という名前でその調査を請け負っております。すでに1回調査を行いました。その時に農林水産省の方と話をし、今年度は八ツ面山の北側のヒメタイコウチの周辺だけですが、来年は女山の西側もやって、そうすると男山の方もそのうち県の事業でやるのではないかとということで、森林を整備するようになったらぜひ、オリエンテーリングができる林にしたらどうかということで、11月3日に子どもを連れて行こうと思っていますが、そうすると県の費用でほとんど森林の整備ができることとなります。実は、名大のオリエンテーリング部の副部長が西尾の方で、人材がいて、場所もあって、県からの金もうまくいけば使えて、それを順次やっていって、第1の矢はこどもの国として、第2の矢は例えば、八ツ面山が少し狭いので、特殊なトレイルオリエンテーリングという種目もいいかと思っていますが、第3の矢は三ヶ根山でバイクの大会を開くとか、あるいは第4の矢として、地図読みだけの大会というのもあります。年々いろいろなことをやっていける可能性がありますので、ぜひ、オリエンテーリングを核とした町づくりを真剣に検討していただきたい。

**教育部次長／オリエンテーリングというものを広め、こどもの国や名鉄西尾・蒲郡線の利用促進、さらには、西尾市の知名度を高めるという大変興味深いご提案をいただき、ありがとうございます。**

今後は、オリエンテーリングについて、愛知こどもの国を始め、関係団体から情報収集などを行い、検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

V 市民V（寺津中学校区）

○ 都市計画道路の整備について

No. 1と3に関することになるのですが、都市計画道路について建設部次長から数字は出していただいたが、私にとってうれしくないと思いました。それはどこかと言いますと、都市計画道路の計画に入っております、南若王子の200mの計画ですが、話の内容では30年着工だと、うちとしてはできあがるのが3年先、5年先と推測します。そこで何が言いたいというと、ここは南若王子のメイン通路になってまいりますので、その道を広くしていただけるなら、通学路として非常に安心安全な道路になります。ここをぜひ強く要望したい。

二ツ家南、二ツ家北を横断する国道247号を歩いてみてください。まさに自転車道路みたくです。非常に危険です。ということから今言った、都市計画道路+200mを開いていただくと、二ツ家からこちらへ回れるんです。先ほどNo.3で言われた迂回路は膨大な費用がかかると言います。今言った、都市計画道路の道を開いていただければ、少しは解消されていくのではないかという思いで、話をさせていただくのですが、その辺どうでしょうか。

建設部次長／先ほど申し上げましたが、今現在、羽塚西区画整理から南ですね、平坂東部との間の道路の事業に着手しており、補助の対象とした工事であり、同じ路線の中で2か所同時では、補助がいただけません。市単独では、膨大な費用がかかります。移転家屋が6、7件あり、補償費も推定で1件何千万とかかります。現在着手している箇所を1日でも早く進めてこちらの方へくるようにしますので、ご理解をいただきたいと思います。

市民V／2つかかると言われたのですが、No.1の要望が×、No.3の要望も×、2つとも×です。費用の面もたくさんかかりますが、その辺は曲げて何とかありませんか。

建設部次長／No.3のバイパスは、県に強く要望してまいります。今、言われた件につきましては、先ほど申しましたとおり、1日でも早く完成してこちらの方へくるような計画を持ちますので、よろしくお願いします。

VI 市民VI（寺津中学校区）

○ 名鉄の廃線の道を通学道路として使えるようにしてほしい

1つアイデアですが、名鉄の廃線の道を通学道路として使うと、二ツ家北、二ツ家南、北若王子からは、学校まで一本道で行くことができます。これを1つ提案させていただきます。

企画部長／名鉄さんとの交渉は企画部が担当しております。議会にも承認をしていただきました市の方針というものがございまして、今、ご提案をいただきました案件は、現地を教育委員会と一緒に見させていただき、ご返事をしたいと思います。

代表町内会長／ぜひ、お願いしたいと思います。

## 【市長 閉会のあいさつ】

大変長時間にわたりまして、いろいろなご意見ご要望をありがとうございました。

それぞれの地域でいろいろな問題を伺っております。本当にやりたいことばかりでございませぬが、予算に限りがございますので、ご理解いただきたいと思ひます。社会資本の整備ですとか環境の問題、非常に大きな問題があると思ひますが、これから日本の国は、少子高齢社会がやってくる。景気は絶えずよくなったり、悪くなったりして予測できませんが、少子高齢社会は確実にやってまいります。2040年になりますと日本中の都道府県で人口が減少してまいります。この西尾を例にとりましても約2万人人口が減る見込みです。先のこと頭に入れていただいていろいろな社会資本の整備を進めていきませんと、つくった以上は必ず維持管理にお金がかかってまいります。ですから我々は後世のために負担を残さず、これから日本の国を背負って立つ若者たちが夢を持てるような状況にして、後世にバトンタッチをしていかなければいけないと思ひております。

道路もご要望をいただきましたが、国全体で今ある公共の道路やトンネルは、補修するだけで年間8兆円以上かかります。その辺のことを皆さま方でご理解をいただくことが大切であると思ひます。西尾市は、今は人口が減少しておりませぬが、必ず減少してまいります。この辺はしっかりと皆さまにご理解をいただいて、先のことを考えていこうと思ひます。

この地域は本当に恵まれた所です。自然環境もいいですし、ここに暮らしてみえる方は気づいてみえないといひますか、当たり前になってしまっている。

昨日、「全国小京都会議」を西尾市で開催いたしました。今、全国で小京都といわれる市町が49ほどありますが、昨日は全国25ぐらいの市町が集まり、いろいろなものを見ていただいて、食事もとっていただきました。おみえになった方々が本当にこんないい所はなかなかないと、感心してみえました。三ヶ根山から眺める景色も良いと言ひていただきましたし、食べものも喜んでいただきました。地元でとれたいろいろな食材で夕食をとっていただいたのですが、「こんなに旨いものは、なかなか食べられない。」とおかわりまでされました。それが我々は当然のこととして過ごしております。

合併をして2年6か月経過したのですが、本当に幅が広がりました。先ほど出ておりました農業副都心構想も新しい観光の大きな目玉になると確信してあります。先ほど大府の例も出ましたが、愛知県で例のないほど素晴らしい所に。これからすぐにはできませんが、少しずつ着実に増やして行って、総合力で他に負けないものをつくってまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

「愛知こどもの国」という素晴らしい所を近くに抱えている所は他にはないです。愛知県の宝であると思ひます。愛知こどもの国は愛知県政100周年の事業として造られましたので、これは何が何でも維持をしていかなければいけない。市単独で維持管理は不可能ですので、県の方も借り、NPOで受けて、たくさんの人に利用していただきたいと思ひます。それと「親子で楽しめる公園」も28年には形ができてまいります。

ご不満なことはたくさんあるかと思ひますが、とにかく我々は一步一步前へ出てどこにも負けないまちづくりをしてまいりたいと思ひます。

皆さまにお願ひをさせていただきますが、あいち花フェスタを11月1日から4日まで開催



をいたします。これは愛知県が主催で行いますが、愛知県は全国一の花の生産地であります。西尾市はたくさん花をつくっております。素晴らしい会にしたいと思いますので、ぜひ皆さま市外のお知り合いの方に3件以上電話をかけて、「西尾でこういうことをやっているから来てほしい。」と宣伝をお願いします。これが私は、総合力の全員野球だと思います。それと同時にアグリンフェアもっております。これも地元の特産品をたくさん売っておりますので、どうか、こういうものがあるということを市外の皆さんに声をかけていただいて、一人でも多くの方に西尾市の素晴らしさを知っていただきたいと思います。

先ほど長寿会の会長から「毎日歩いている」と言われました。いいことです。とにかく歩かないといけません。先日、大分市で「全国都市問題研究会」があり、全国の市長が集まりました。愛知県のことを言われた講師が2人おみえになり、「愛知県は日本一糖尿病が多い」と言われました。なぜかというと、車が全国一多い。東京の人の歩く距離の3分の1ぐらいしか、愛知県の方は歩いてみえないそうです。歩くことが一番の健康管理だと思います。今から高齢社会になりますが、医療費が心配です。元気な方ばかりなら全然心配ありません。ここへ出てみえる方は、100歳以上は大丈夫。どなたもフルに歩いていただいて、暴飲暴食をせず、しっかりと健康維持ができれば、素晴らしい人生が送れると思います。ぜひ、西尾は元気な人が日本一多い所にしたいと思っておりますので、皆さま歩いて、どこか悪い道路がありましたら、連絡してください。

皆さま今日は本当に有意義な会でした。長時間ありがとうございました。